

# JIS

高周波誘導部品－電気的特性及び測定方法－  
第 1 部：ナノヘンリー範囲の  
表面実装インダクタ

JIS C 62024-1 : 2022

(IEC 62024-1 : 2017)

(JSA)

令和 4 年 8 月 22 日 改正

認定産業標準作成機関 作成・審議

(日本規格協会 発行)

一般財団法人日本規格協会 電子分野産業標準作成委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	平 本 俊 郎	東京大学
(委員)	石 井 紀 彦	日本放送協会
	河 村 真紀子	主婦連合会
	渋谷 隆	株式会社白山
	諏 訪 正 樹	KOA 株式会社
	内 藤 恵美子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタン ト・相談員協会
	藤 井 哲 郎	東京都市大学名誉教授
	松 井 隆	日本電信電話株式会社
	山 口 大 輔	総務省国際戦略局
	山 田 誠	大阪公立大学

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 18.3.25 改正：令和 4.8.22

担 当 部 署：経済産業省産業技術環境局 国際電気標準課

(〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1)

官 報 掲 載 日：令和 4.8.22

認定産業標準作成機関：一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル)

素 案 作 成 者：一般社団法人電子情報技術産業協会

(〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-1-3 大手センタービル)

審 議 委 員 会：電子分野産業標準作成委員会 (委員長 平本 俊郎)

この規格についての意見又は質問は、上記認定産業標準作成機関又は素案作成者にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに見直しが行われ速やかに確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 インダクタンス, Q 及びインピーダンス	2
4.1 インダクタンス	2
4.2 Q	7
4.3 インピーダンス	8
5 共振周波数	8
5.1 自己共振周波数	8
5.2 最小出力法	8
5.3 反射法	10
5.4 アナライザによる測定	12
6 直流抵抗	13
6.1 電圧降下法	13
6.2 ブリッジ法	14
6.3 測定上の注意事項	15
6.4 測定温度	15
附属書 A (規定) 表面実装インダクタの実装方法	16
解 説	17

## まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 14 条第 1 項の規定に基づき、認定産業標準作成機関である一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準の案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS C 62024-1:2011** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

**JIS C 62024** 規格群（高周波誘導部品－電気的特性及び測定方法）は、次に示す部で構成する。

**JIS C 62024-1** 第 1 部：ナノヘンリー範囲の表面実装インダクタ

**JIS C 62024-2** 第 2 部：DC/DC コンバータ用インダクタの定格電流の決め方

# 高周波誘導部品—電気的特性及び測定方法—

## 第1部：ナノヘンリー範囲の表面実装インダクタ

### High frequency inductive components—Electrical characteristics and measuring methods—Part 1: Nanohenry range chip inductor

#### 序文

この規格は、2017年に第3版として発行された IEC 62024-1 を基に、技術的内容及び構成を変更することなく作成した日本産業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある参考事項は、対応国際規格にはない事項である。

#### 1 適用範囲

この規格は、通常高周波帯域（100 kHz 以上）に用いるナノヘンリー範囲の表面実装インダクタ（以下、インダクタという。）の電気的特性及び測定方法について規定する。

**注記** この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

IEC 62024-1:2017, High frequency inductive components — Electrical characteristics and measuring methods — Part 1: Nanohenry range chip inductor (IDT)

なお、対応の程度を表す記号“IDT”は、ISO/IEC Guide 21-1 に基づき、“一致している”ことを示す。

#### 2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

**JIS C 6484** プリント配線板用銅張積層板—耐燃性ガラス布基材エポキシ樹脂

**注記** 対応国際規格における引用規格：IEC 61249-2-7, Materials for printed boards and other interconnecting structures — Part 2-7: Reinforced base materials clad and unclad — Epoxide woven E-glass laminated sheet of defined flammability (vertical burning test), copper-clad

**JIS C 62025-1** 高周波誘導部品—非電気特性及び測定方法—第1部：電子機器及び通信機器用表面実装固定インダクタ及びフェライトビーズ

**注記** 対応国際規格における引用規格：IEC 62025-1, High frequency inductive components — Non-electrical characteristics and measuring methods — Part 1: Fixed, surface mounted inductors for use in electronic and telecommunication equipment

**JIS K 8839** 2-プロパノール（試薬）

**注記 1** 対応国際規格における引用規格：ISO 6353-3, Reagents for chemical analysis — Part 3: